

整備候補地選定作業事例（熊本県の例）

検討会作業期間：H15.7.17（第1回）～H16.2.5（第6回）	
フェイズ （検討会回数） ＜選定箇所数＞	評 価 項 目 等
第1段階 （第1～2回）	<ul style="list-style-type: none"> ○選定方法の審議 ○法規制地域等の項目審議 ○候補地拾い出し要件審議
第2段階 （第3回） ＜134箇所＞	<ul style="list-style-type: none"> ○規制地域等以外の場所 ○埋立容量：50万m³以上確保 ○埋立高：概ね10～15m確保 ○敷地面積：8ha以上確保 ○谷地形（谷勾配）地形 ◎1/25,000の地形図を用いて抽出 ◎埋立高20m以内において確保できる容量が40万m³、貯留構造物高は15未満
第3段階 （第4回） ＜93箇所＞	<ul style="list-style-type: none"> ○特定希少野生動物保護区 ○希少野生動植物生息地等保護区 ○特定植物群落 ○活断層からの距離（300m未満は除外） ○土石流危険渓流 ○市町村指定重要文化財 ○市町村指定史跡名勝等
＜42箇所＞	93箇所を次の項目にて評価 <ul style="list-style-type: none"> ○流域の位置関係（下流域に他県が存在するときは除外） ○住宅からの距離（100m未満は除外） ○学校からの距離（500m未満は除外）
第4段階 （第5回） ＜14箇所＞	<ul style="list-style-type: none"> ○地形（施工や施設用地確保の容易性、埋立効率） ○地質（地盤改良の要否、難透水性） ○土地利用状況 ○道路状況（アクセス道路の新設・拡張が必要な距離） ○既存処分場との位置関係 ○市町村等の開発計画への影響 ○流下河川の状況 ○景観上配慮の有無（住宅や公道からの見えやすさ） ○市町村指定環境保護区への影響 ○住宅からの距離（100m未満は不適） ○水道水源への影響（1km未満かつ下流に位置する場合は不適） ○小中学校からの距離（500m未満は不適） ○候補地に流れ込む流域の広さ（転流工の要否） ○危険箇所（地滑り、急傾斜等） ○観光資源等への影響
現地踏査 総合評価 （第6回） ＜8箇所＞	<ul style="list-style-type: none"> ○現地踏査 ○概算施設建設費の試算 ○概算アクセス道路建設費の試算 ○概算維持管理費の試算 ○運搬コストの検討 ○総合評価（上記項目を総括した総合評価）